



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和6年2月1日発行
2月号

ゆるがない土台作りを・・

校長 井上 美保

去る、1月20日(土)令和6年度入学生に向けての入学説明会を行いました。

入学説明会は、来年度の入学予定者が、2カ月後の入学に向けて、見通しをもって学校生活を送れるよう準備を進めていただくために実施している説明会です。「説明会を通して、学校のことを少しでも理解してほしい」との話に、入学予定者たちの表情はやや緊張しているように感じられました。

本校には、約300名の生徒が在籍していますが、整理整頓された清潔な校舎と主体的に動きやすい構造化された教室、分かりやすい授業、そして何よりも生徒による自主的な挨拶は、学校を視察した多くの方々に高く評価されています。今年度、本校独自の「4S」「南大沢スタンダード」を整理し、「南大沢UD」を導入することにより、様々な特性のある生徒たちの学びに向かうベースを整え、土台となるゆるがない地盤を築いてきた成果であると思っています。これからも、高等部1年生の入学当初から、適切な実態把握を大切に、生徒の実態に応じた分かりやすい授業を展開できるように努力してまいります。そして、本校に在籍する生徒全員の地道な学習の積み上げが、3年後には、確実な成果となって花開くよう教育活動の質の充実を図っていきたいと思います。この取組は、まだまだスタート地点にありますが、学校を支えてくださっている多くの皆様に感謝するとともに、何よりも子供たちに真摯に向き合い、根気強く指導に当たっている本校の先生方を大変誇らしく思う日々です。

■学校経営の改善の視点から

今年度は、自律的な学校経営の改善の視点から、学校評価アンケートを改善しました。アンケート評価項目を学校経営の軸となる重点に合わせて見直し、学校評価を学校の自己評価に生かしていく仕組みに整えました。学校評価結果は、先日行われました第三回学校運営連絡協議会(教育活動に直接かわらない方々から、学校経営について意見を聞く機関)に報告し、全ての回が終了しました。学校としての自己評価や、保護者の皆様からの御意見は、できる限り年度内に改善し、予算が伴う事項については、来年度の学校経営計画に反映させていくつもりです。保護者の皆様、地域の皆様、アンケートへの御協力ありがとうございました。

なお、保護者の皆様には、別紙にて、学校評価アンケートの結果を報告させていただきます。頂戴しました御意見に関しても回答を掲載しましたので、御覧いただければ幸いです。来年度からは、新たに立ち上げる学校支援組織との関連性を持たせながら、新たな形で学校運営連絡協議会を開催してまいります。

社会人キャリアアップ講座

主幹教諭 田島 麗子

本校では、卒業して1年目の卒業生を対象に、公開講座（社会人キャリアアップ講座）を実施しています。今年度は計5回、土曜日の午前に行っています。5月・7月・9月は学校を会場として実施、12月はMicrosoft Teamsを用いたオンラインで実施しました。講座の内容は、健康管理、仕事の悩み相談、ストレスマネジメント、金銭管理等です。東京都消費啓発総合センターの消費者啓発員や、公認心理師、社会保険労務士など、様々な専門家の皆様に講師をお願いして、講座を実施しています。

「任される仕事が増えてきた」「悩んだ時は上司や先輩に相談している」「欲しかったものを給料で買うことができた」など、毎回、卒業生から様々な近況報告を聞かせてもらっています。そのような中で、今年度最も多く話題に上がった悩みごとは、「職場での人間関係」です。「同僚とどのような話をしたらよいのか分からない」「上司に声を掛けづらい」「先輩ともめてしまった」など、会社というまだ慣れない環境の中で、うまくいかないことに悩みながら、それぞれ、懸命に仕事に取り組んでいる様子をうかがい知ることができました。先日の講座では、こうした悩みに対する解決方法をほかの参加者と一緒に考え、意見交換を行いました。「相手の好きなことや自分の好きなことを話題にしてはどうか」「まずは、相手の話をきちんと聞くようにする」「クッション言葉を使うとよいのでは」「時間をかけて、ゆっくり関係を作っていったらよい」「上司への相談が大事」「割り切って考えることも必要」など、各々が経験を通して学んだことをもとに助言をする姿、そしてその助言を真摯に聞く姿に、卒業生の成長を感じると共に、とても頼もしく思いました。



第3回 ストレスマネジメント講座の様子

働くために必要な力、そして、働き続けるために必要な力について、在学中に、校内での授業や部活動、現場実習等を通して学び、身につけてきました。卒業生は、実社会に出て、今まさにその学びの成果を発揮しているところです。たくさんの人との関わりの中で、さらに経験を積み、学びを深めて、成長していかください。社会人として、どのような自分でありたいか。自身へ向けての期待と希望を実現できるよう、引き続き、邁進して行ってほしいと願っています。